

「子供の町だより 201901」

社会福祉法人子供の町  
理事長 斉之平 伸一

明けましておめでとうございます。旧年中はひとかたならぬご芳情にあずかり、誠にありがとうございました。本年も変わらぬご指導ご支援のほど、お願い申し上げます。

さて、昨年9月に埼玉会館で行われた「みんなで育てる養育のススメ」児童養護施設と企業家団体との協働～子供たちの就労体験実習～京都「社会的共同親」プロジェクト講演会に参加しました。社会的共同親とは、児童養護施設などで暮らす子どもたちを、地域の大人たちが親代わりになり支援する活動のことです。京都市中小企業家同友会の方々が行き詰まり活動が英国の「コーポレート・ペアレント」活動に似ているということで、京都府立大学の名誉教授が「社会的共同親」と名付けられました。

児童養護施設で暮らす子どもたちは、高校を卒業すると施設を出なければなりません。アパートを借り一人で生活し、会社に就職して働き始めます。困ったときに、相談する大人がいない場合もあります。生活に行き詰まり離職する人も多く、支援が必要と考えております。

そのような時に、相談に乗ってくれる何人かの信頼できる大人がいることは、子どもたちの支えになります。

「社会的共同親」の活動は、大いに参考になりました。

そこで、昨年10月に子供の町で第一回支援者懇談会を開催しました。日頃より子供の町をご支援いただいている会社の方々にお集まりいただきました。

創刊： 昭和24年11月  
発刊： 社会福祉法人 子供の町  
児童養護施設 子供の町  
児童養護施設 エンジェルホーム  
地域小規模児童養護施設 菜の花  
住所： 〒344-0112  
埼玉県春日部市西金野井337  
TEL： 048-746-0206  
FAX： 048-746-9215  
HP： <https://kodomonomachi.jp/>

今回は、「社会的共同親」のご説明と、そしてご意見を頂戴しました。

次回開催のときには、支援会社の皆様と子どもたちが話し合う場をつくりたいと存じます。

また、11月には、明治記念館において第58回「子供の町のためのチャリティーバザー」を開催しました。多くのお客様がご来場され、ご寄付、ご購入いただきました。ご寄付またご協力・ご支援いただきました皆様に心より御礼申し上げます。

「子どもの潜在可能性」

子供の町・エンジェルホーム  
施設長 根岸 昇

寒中お見舞い申し上げます。

平成最後の元日はとても穏やかな日となり、職員寮屋上からは富士山と筑波山がきれいに見えました。子供の町・エンジェルホームでは在籍135名のうち105名が施設で新年を迎えました。9寮舎のうち2寮舎は一人も親族宅に帰省することができず、全員揃って大晦日を過ごし元日を迎えたのです。帰省できない理由の59.5%は、被虐待等の理由で児童相談所の許可が得られないためでした。物質的には豊かな日本にあって、親子・親族の関係性、人と人とのつながりの希薄さや病理性がこれほどまでに深刻化しているこの現実を、何人の国民が知っているのでしょうか。

さて、平成28年の児童福祉法改正は子どもの権利擁護と家庭的養育の推進という観点から、児童養護施設にとって極めて重要な改正でした。**第1条**  
「全て児童は、児童の権利に関する条約の精神にの

### 専門職より

「心理検査の限界について」

エンジェルホーム 心理士 木村 友理佳

子どもの知的発達状態や特徴を知り、適切な支援の方向性を考えたいということから、心理検査の中でも特に知能検査の依頼が増えてきているように思います。心理検査には、知能検査の他に発達検査、性格検査(質問紙法、投影法、作業検査法)、神経心理学検査など様々なものがあります。しかしながら、各心理検査はあくまで子どもの心の横断面、一側面を測定しているだけに過ぎません。そのため、いくつかの心理検査を組み合わせることで子どもを多層的・多面的に理解することが推奨されています。その反面、子どもの負担は大きくなるため、検査を必要最小限にすることや子どもの状態を見ながら心理的負担がなるべく少なく済むような配慮が必要となってきます。心理検査は、発達特徴や性格、考え方の傾向等についてある程度を知ることではできても、生活の中で子どもに実際どんなことが起き、困っているのかについては知ることができません。子どもの持っている生い立ちや生物・心理・社会的要因が絡み合い、弱い部分などを通して症状や問題は現れますが、何がどのように出てくるかも人それぞれです。そのため、職員さんから聴く子どもの様子や側面情報があつてこそ、心理検査の結果が本人に生きるものとなり得ると日々実感しています。

「FSW って何？」

エンジェルホーム

家庭支援専門相談員 岡崎 はるみ

FSW に配置され子どもたちから何度か投げかけられた言葉です。私の中でも自施設におけるFSWの役割とは何たるかと自身に問いかけながらも、時代や社会の流れによって家庭復帰が難しいケースも多く、自立へ向けた支援が主な仕事になってきている今日。ならば…今後将来家庭を持つであろう子どもたちに、よりよい家庭を築けるような経験であり知識を与えていく事も、大切な役割と考えるようになりました。温かい家庭を築いてほしい…と願いを込めて、今FSWとしてできる支援を考えていきたいと思っています。

つとり、適切に養育されること、その生活を保障されること、愛され、保護されること、その心身の健やかな成長及び発達並びにその自立が図られることその他の福祉を等しく保障される**権利を有する。**」**児童の権利条約第12条**では「1締結国は、**自己の意見を形成する能力のある児童がその児童に影響を及ぼすすべての事項について自由に自己の意見を表明する権利を確保する。**」この場合において、児童の意見は、その児童の年齢及び成熟度に従って相応に考慮されるものとする。」と規定しています。

実は昨年夏前に中学生女兒たちから「休日のお化粧を認めてほしい」という要望が出されました。あるユニットで「普段真面目に頑張っている子どもたちなので、かわいらしい薄化粧を認めたい」と会議に提案があつたのですが、施設長としては施設全体として統一すべきであり「世間の風潮に踊らされて、安物の粗悪な化粧品で綺麗な素肌を化粧する必要はない」と判断しました。これに対して苦情ポストに中2の女兒から手紙が寄せられ、中高生女兒たち十数名と担当職員を交えての話し合いを2回行いました。その間に、ユニット・寮舎毎に子どもと話し合い、職員間の協議を踏まえて職員会議で協議しました。最終的には、いくつかの約束事を子どもたちとも確認し合つて、学校の休日・長期休暇中のお化粧を認めました。

結論が出るまでの約5ヶ月間、子どもたちは勝手に化粧をして既成事実を作るなどの逸脱行為をすることもなく、自分たちの意見が認められるまで待つことができたのです。職員会議では、子どもたちを大いに褒めてほしいと伝えました。私は中学生のお化粧を認めることについて、派生的な問題への対応を職員が覚悟することが重要であると言いました。センスの良さ、手先の器用さ、色彩感覚、お小遣いの多少などにより、子ども間のトラブル(蔭口・いじめ・万引き・男児からの口撃等)も想定しなければならぬからです。実態がどうなるかと案じていましたが、冬休み中はお化粧している中学生はほとんどいませんでした。認めてもらえたことで気持ちが満たされたのかもしれないですね。

子どもの権利の柱は「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」。子どもが「参加する権利」を行使する時代です。子どもたちの潜在的可能性を信じましょう!



## 職員寄稿

### 「禍福は糾える縄の如し」

子供の町 菜の花 高橋 典子

目まぐるしく変化する日々、その度に気持ちを惑わされても仕方がないが、子どもたちからじっと堪える勇気をもたらえる。

沢山の苦楽を経験した姿と、変わらぬ笑顔が年賀状の家族写真にあり微笑ましく思う。

子どもたちへの職員の小さな思いが、一つ一つ繋がって、いつかその思いが帰って来る事こそ喜びであり、やりがいである。

### 「10年間の秘訣」

子供の町 2寮主任 宇田川 知恵

初々しく入職した10年前の春、様々な理想を描いていました。しかし、20歳の私に学童の男児を担当する日々は想像を絶するものでした。何度も退職しようと思いましたが、女兒寮への辞令が出た時には寂しさから涙が出ました。

異動してからは、後悔だけはしたくないと思うようになり、以前よりも積極的になれた気がします。

私が今でも子供の町にいるのは、卒園生の自立した姿に心を動かされているからかもしれません。

### 「印象に残っている事」

エンジェルホーム 5B寮 曾原 瑞恵

私が1年目の時、担当していた子が家庭引き取りになるケースがありました。そのことが印象に残っています。両親に挟まれ手をつないで施設から離れていく姿を見て、これが家族の本来の姿であるはずなのだなと感じ幸せになってほしいと思いました。そして、今施設にいる子どもも望んでここに居るわけではないかもしれないけど幸せになるべきだし、少しでも「ここも悪くない」と思ってもらえるように働いていきたいと思いました。

### 「入職から3年」

子供の町 すみれ 中野 愛香

日々子どもと接する中で、自分より小さい子の面倒をみたり、小さくなった洋服をおさがりする時、とても成長を感じます。高齢児は、思春期特有の態度を見ていると、イラッとすることも多いですが、自分が中高生の時を思い出し、可愛いなと思ってしまいます。時折幼い時の写真を見せてもらえると、尚更かわいく見えてきます。そういった些細な事がやりがいになってい

る事を改めて感じています。来年はどんな成長がみられるか楽しみです。

### 「心に残る子ども」

子供の町 わかば 小島 しげ子

原稿のテーマが「心に残る子ども」とあって宿直をしながら一人回想にふける。すると次々と子どもたちの顔が浮かんできた。表情というよりその子の眼が思い出される。色々な眼があった。しかし若い時は何も見えてこなかった。そのことが、年齢を重ねる程につらくなる。それでも稀にとっても嬉しいことが起こるからこの仕事を続けているのかもしれない。その例を一つあげてみる。

平成元年、当時K子は小学5年生で、幼児期に里親不調の体験を持つ賢く器用で非常に絵の上手な子であった。本人の希望もあり、その年「ふれあい里親」に参加することになり、その時の里親とはその後も継続して関係を持つことができた。高校卒業時に実父の下に帰飛出し、そのまま里親宅で暮らさうようにか里親を「とちゃん」と呼ぶようになっていた。「よかったですね」と言うと、「そうだよ。この子は宝だよ。だけど大変だったよ。K子はわからないんだよ。当たり前なのがさ。何回泣いて喧嘩したか」という里母の傍でK子は笑っていた。そして結婚式の時も「K子がいるからさ2人でこうやってドレスを選んだり結婚式もできたんだよ。本当にありがたいよ」と教会のバージンロードを里父とK子が歩く姿は本当に感動的だった。数年後に里父は病気で亡くなるが、最後の夜K子は里父の傍に自らの布団を敷いて寝たという。現在K子は夫と2人の男の子に恵まれ幸せに暮らしている。新居には里母の部屋があり、たくさんの野菜を持って孫に会いに来ると言う。現在K子は保育士の資格を取得するために頑張っている。



### 「今、あらためてふりかえって」

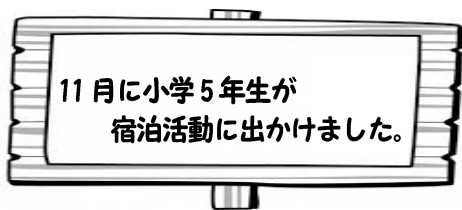
エンジェルホーム 5A寮 鈴木 千夏

短大卒業後に、子供の町に！子どもが好きで、子どもに寄り添って毎日楽しく仕事をしたいと思い就職。実際に就職して直ぐ担当した子どもは年齢も近く、いくら弟がいたからとはいえ、どう接して良いか不安で戸惑いました。日々仕事をしていく中で、時折見せる子どもの屈託のない笑顔、笑い声等に自分は救われていたように思います。また、その不安を組んでいる寮

の職員が助けてくれたり、指導して頂いたり、相談にのっていただいたりして、少しずつ前を向いて仕事ができるようになったと思います。寮の職員と子どものことを話せる、聞いてもらえる、又寮をこえてしっかり子どものこと、対応の仕方等を話せる環境で仕事をしてこられたことは、とてもよかったです。ただ、私の中では寮を異動し、担当した子どもが半年で児童自立支援施設へ措置変更になったことが自分の不甲斐なさを痛感し、今でも記憶に残っています。

日々の仕事に追われているという状況の中、振り返るという機会をもらい、とても良かったと思います。今でも、就職した時「子どもが好きで、子どもに寄り添って毎日楽しく仕事がしたい」という思いは変わっていません。その上で、職員が笑顔でいること、たくさん話をする、たくさん話を聞いてあげることの大切さ、そして職員間のコミュニケーションの大切さを感じました。

今後も、私はこの経験を大切にしていこうと思います。



「山梨の伝統と自然に触れて」

エンジェルホーム 5A寮 高橋 靖文

下見では悪天候に見舞われ前途多難な秋季活動と感じておりましたが、当日は晴天に恵まれ2日間を終えることができました。

今回、山梨県を訪問し、間近で雄大な富士山を見て皆で感動したり、昇仙峡をはじめ沢山の自然に親しみ、清泉寮では酪農体験を通じ命の大切さや牛乳を作る大変さを子どもたちと一緒に学ぶことができました。そして何より、和気藹々と過ごせたこと、「楽しかったまた行きたい」という声を貰えたことが一番の思い出です。



「秋季活動楽しかった」

子供の町 3寮 T. Y.

ぼくは、秋季活動が楽しかったです。理由は、山を登ってほうとうを作ったからです。自分で作ったやつを食べたらおいしかったのでよかったです。あと、2日目にぼくじょうに行き、くさかったけど、がんばってえさをあげられたからよかったです。あとぼくじょうでうしが脱走してたことです。この秋季活動でたの

しかったことやうれしかったことおもしろかったことがあったのでまた行きたいです。

「色々なことを学んだ秋季活動」

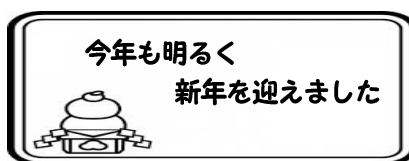
エンジェルホーム 5A寮 S. S.

私は、今年の秋季活動で自然の美しさや、動物の飼育の大変さを学びました。

1日目は、ハイキングをしました。そこでは、こうようがきれいでした。2日目は、牧場に行って牛のえさやりや、ちちしぼり体験をしました。そこでは飼育の大変さを学びました。

私が一番心に残ったことは、山梨の文化を知れたことと、飼育の大変さを知れたことです。

来年は最後なので、楽しんでいきたいです。



「今年のお正月」

子供の町 たんぽぽ 榎本 実咲

今年のお正月は、とてもゆったりとした1日でした。おせち料理をみんなで囲み、「今年はどうな一年になるんだろうね」と会話を楽しみながら食事を摂りました。初詣には歩いて香取神社へ行き、お参りをして、おみくじを引いて…普段より遅い時間まで起きていましたが、それぞれがゆっくと過ごせていました。今年も子どもたちのたくさんの笑顔が見たいです。

「お正月」

子供の町 3寮 Y. T.

ぼくは今年のお正月に色々な事をしました。1つ目は初詣に行きました。初詣ではおみくじを引いた後、甘酒を飲みました。不味かったです。

2つ目は、グラウンドでサッカーをしてその後テレビを見て寝ていました。

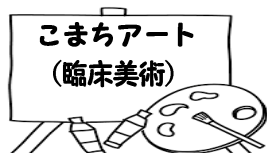
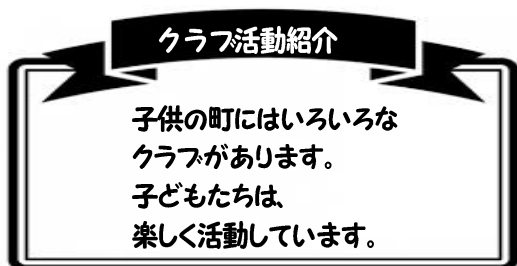
平成最後のお正月は楽しかったです。

「今年のお正月」

子供の町 菜の花 R. K.

私は、お年玉をもらいました。全部で2万円くらいです。子供の町からと、おじいちゃんたちからです。帰省中は、そのお年玉でイオンに出かけてお気に入りを探しました。好みの物がなかったり、私は決めるのがおそいので、4、5件店をまわって見つけたのが洋服でした。あと、福袋も買いました。残りのお年玉は、貯金したいと思います。





「こまちアート園内展示開催！」

子供の町 心理士 薊 奈保子

月1回、臨床美術士の先生方を講師としてお迎えしている“こまちアート”ですが、今年で活動は6年目を迎えます。例年、外部機関ご協力の元作品展を開催していましたが、今年度は初の試みとして、入所児童や施設職員に向けた施設内展示を導入しました。担当職員と個別に観覧に来る児童が多く、「私のこれ！」と自分の作品を職員にアピールする絶好の機会となっています。現在も、新しい作品をどのように展示しようかと試行錯誤中です。子どもたちの感性が織りなす素敵な空間を、是非ご覧ください。



「こまちアートにいったよ」

子供の町 ゆり A. O.

こまちアートに参加しました。いろいろなものを作りました。あじの絵をかいたり、紙皿に絵をか

いたり、貝がらのかたをぬいて石こうを作ったりしました。石こうが一番楽しかったです。かたをぬいて絵の具で色をぬりました。むずかしくてきれいにできなかつたけど、色々な形ができて楽しかったです。これからもたくさん作りたいです。

「こまちアート」

子供の町 わかば D. E.

きょ年から、ぼくは、こまちアートにはいっています。

いろいろなものをつくったり、絵をかいたりします。先生は4人で「いいね」ってほめてくれます。まい回しゃしんをとってくれます。

ぼくは、とてもたのしいです。



「華道クラブの活動を通して」

エンジェルホーム 9寮 加藤 あき枝

今年度で華道クラブの活動に参加して2年目になりました。今年度は担当寮の子どもたちも誘い、一緒に活動してきました。男の子の参加も多くなりました。一人ひとりが、それぞれの思いで花を生け、集中して作品を作っている姿が見られました。毎回、子どもたちの個性豊かな作品には感動させられます。子どもたちならではの発想が見られて、華道をする事の良さを感じることができました。

「華道部」

子供の町 たんぼぼ T. M.

ぼくは、かどう部のいろいろなイベントが楽しいです。たとえば、ハロウィンやクリスマスです。ハロウィンでは、かぼちゃを使ったり、クリスマスでは、リースづくりをしました。きせつにあった植物をつかったことでいままでしなかった花のことにすることができてうれしかったです。とくに、クリスマスリースはげんかんにかざることができてうれしいです。これからもかどう部としてがんばっていきたいとおもいます。

「みんな楽しい華道部」

エンジェルホーム 5A寮 A. K.

私が思う華道部の楽しさは、2つあります。

1つ目は、季節に合ったお花をいけられることです。5月にはチューリップ、8月にはひまわりなどいけられます。2つ目は、イベントなどがある月の時には、10月にはカボチャなどを使って生け、12月には、クリスマスリースなど作ることができます。この時には、華道部に入っていない人でも参加できます。華道をやったことがない人でも楽しめるので、入ってみてください。





子供の町あれこれ

◆11月16日春日部保健所の「食品衛生監視指導・立入検査」(抜き打ち)がありました。施設の構造・職  
品取扱設備・給水及び汚物処理・管理運営・職員取扱  
者の5区分の検査で100点満点でした。給食室主任  
によると、抜き打ち検査で10年連続の快挙です。定  
員削減により現在の食数は160~170食です。子  
どもと職員の食の安全と健康を担う給食室職員とし  
て、当たり前のことを励行している日常業務の完璧さ  
は称賛に値します。

◆12月21日野田市のブルーベリー農園主の岩本  
詮史様が逝去されました。子どもたちと私に農業体験  
の機会を提供してくださり、毎年8月には無料摘み取  
りのご招待、夏祭りには無農薬栽培のブルーベリー生  
ジュースを無償提供していただきました。約10年前、  
農業ボランティアの申し出をいただき、農園を見学さ  
せていただいた私は、ブルーベリーの苗木に敷き詰め  
られたピートモスのフワフワ感にとっても癒されたの

です。強いうつ状態に陥っていた私自身がすぎるよう  
な思いでスタートしたつながりでした。

少し暴力的な中学生や障害を持った子どもたちにと  
っても心が癒される居場所でした。ある子どもは施設  
で職員に叱られて無断でいなくなり、岩本さんから  
「来ているよ！何かあったのかな？」と報告を受けて  
ほっとしたことがありました。普段は無口で無表情な  
子どもも、農園に行くと表情が生き生きとし、親のこ  
となどを話題にすることもありました。中学生男女が  
一緒に耕したり苗植えをしながら、学校のことや彼  
女・彼氏のことを話したり、とてもよい交流の場とも  
なっていました。

去年の夏は、初めて草刈り応援の依頼があり「夏祭り  
用のブルーベリーは自分たちで摘み取ってほしい」と  
電話がありました。小中学生6人と一緒に50円玉ほ  
どの大粒のブルーベリーを10キロほど摘み取らせ  
てもらいました。子どもたちと職員に書いてもらった  
色紙4枚をご遺族の方にお渡しし、コピーを棺に納め  
ていただきました。どうぞ安らかに永  
眠してください。



今まで本当に有難うございました。

H30年10月~H31年1月に寄付金・寄付品を頂いた方々(順不同・敬称略)

E. C. R. (共栄大学のサークル)

荒尾 雅也  
相羽 薫  
荒木 嗣則  
石井 正史  
内堀医院  
遠藤 邦子  
遠藤 周治  
大塚防災  
大森機械工業(株)  
岡野米菓  
沖田土木  
春日部市社協 庄和地区支部  
春日部西口ロータリークラブ  
金子 志乃  
勝木 洋文  
株本 裕子  
河島 丘征  
君塚歯科医院  
県食鳥肉販売業生活衛生同業組合  
株小泉襪紙加工所  
小泉 雅行  
小越 丈夫  
腰越 三恵子  
コストコ新三郷倉庫店  
株ゴルフドゥ  
埼玉県労働者福祉協議会  
埼玉県厚生保護女性連盟  
埼玉県書店商業組合

財団法人 日本出版クラブ  
坂口 三郎  
坂崎 亮二  
紫舟アトリエ  
スペース悠悠チャリティーコンサート  
セブンイレブン春日部一割店  
全国シャンメリー協同組合  
杉戸町商工会青年部  
スポーツトゥハートプロジェクト  
セカンドハーベスト  
全ヤオコー労働組合  
高田 泰信  
株宝島 徳山萬基  
高柳 淑子  
田中 文男  
田中 靖孝  
土屋 時彦  
(株)チュチュアonna  
太平 内牧夢らんど  
太平 かすかべ夢らんど  
太平 杉戸夢らんど  
太平 平方夢らんど  
太平 エルランドエル  
太平プレイランド関宿店  
東京電力常備労働組合  
東清物産(株)  
中本 なほ子  
株中村設備  
株並木樹指

日本鏡餅組合  
ニュースキンジャパン&セカンドハーベスト  
ネットヨタ東埼玉(株)  
株ノボダ  
長谷川 浩一  
ハッピーベア  
浜友観光(株)  
フィリップモリスジャパン合同会社  
(株)プレナス  
フレンチレストラン シャルメ  
NP0法人フードバンク埼玉  
毎日新聞東京社会事業団  
正木 宏和  
松本 伸一郎  
株丸山自動車  
港区民生委員児童委員協議会  
株みのや  
宮本医院  
森田 恵子  
ヤクルトグループ  
山崎 晴子  
山田 茂  
ヨークマート労働組合  
吉原 由美子  
楽園 南越谷店  
株リパティエステート  
ロッテリア  
他 匿名の方

子どもたちのために、たくさんのご支援ありがとうございました

\*子供の町のホームページを開設しております。是非ご覧ください。

<http://kodomonomachi.jp/>